

山口あずさのこれまでの活動と東京でやりたいこと

山口あずさ

1. 2011.3.11 からの活動

- 2011.3.11 東日本大震災発生時は、中央区八重洲の勤務先にいた。夜 11 時まで勤務先待機、その後、地下鉄及び私鉄が動き始めたので帰宅。
- 2011.3.12 TV で福島第一原発 1 号機の爆発を知る。理想が通用しない時代になったと思った。



図 1 炊出し&ミニライブ



図 2 石巻 一皇子神社前

- 2011.3.19 より、渋谷、大阪、徳島、横浜にて、内田裕也 HELP 募金、web サイト制作のため、撮影参加。[1]
- 2011.4.6 石巻にて、内田裕也『HELP!』Action! 「炊出し&ミニライブ」、撮影参加。(図 1、2)
- 2011.8 自宅にあった蚊帳や亡くなった祖母の鏡台、衣類などを被災地に送った。無力だった。
- 2011.9.17 「LIVE 福島風とロック SUPER 野馬追い」に参加。
- 2011.12 より、経産省前テントひろば支援。福島の女性を自宅にお招きしたり、第 2 テント(女性テント)の情報発信を手伝ったりして、さまざまな情報を得た。
- 2012.1 「原発」都民投票受任者として署名活動に参加。
- 2012.3.11 福島県郡山市で開催された「原発いらない! 3.11 福島県民大集会」に参加。
- 2012.4 西東京市向台町自治会「向栄会(こうえいかい)」町内会長就任(2013.3 まで)。防災用



図 3 向栄会 WEB サイト



図 4 2012 年 6 月 20 日 都議会総会本会議 「原発」都民投票条例案採決

- メーリングリストを作成し、WEB サイト構築した。(図 3) [2]
- 2012.6.17 『福島からみた「原発」都民投票』西東京にて開催、スタッフ参加。
- 2012.6.20 「原発」都民投票、都議会否決を受け、「原発」都民投票の会設立準備。(図 4)
- 2012.9.2 双葉町町民「7000 人の復興会議」出席。被災者の話を直接伺って、ボディブローのようなショックを受ける。双葉町のコミュニティだけでも取り戻したいと感じた。

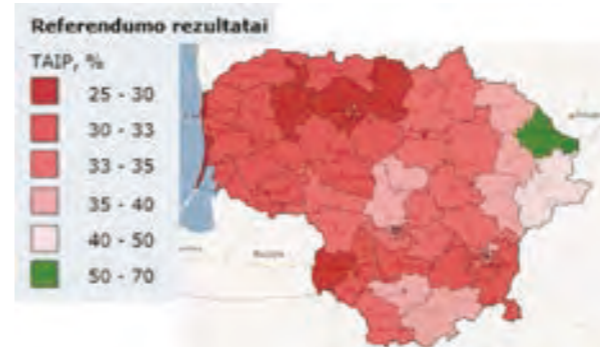


図 5 リトアニア「原発」国民投票結果 (*TAIP=YES)
※原発立地地域のみ建設賛成が多数



図 6 廃炉作業中のイグナリナ原発



図 7 私が東京を変える WEB サイト

- 2012.9.4 「脱原発と総選挙」の院内集会にて、衆院選出馬表明。[3]
- 2012.10.1 「原発」都民投票の会設立。WEB サイト構築。[4]
- 2012.10.9-16 リトアニア「原発」国民投票の取材に同行し、廃炉作業中のイグナリナ原発を訪問。(図 5, 6)
- 2012.11.4 市民グループ「私が東京を変える」が設立され、代表就任。宇都宮健児前日弁連会長の都知事選を応援。[5]
- 2012.12.2 衆院選出馬断念を表明。
- 2013.1.1 西東京市市議補選出馬を決意。告示日(1/27)まで一カ月なかった。(図 8)
- 2013.2.3 西東京市市議補選出馬し、落選するも 12,626 票を得て次点に。
- 2013.2.16 『ミニ・オリーブの木構想 一山口あずさの選挙戦を振り返る』西東京市にて開催。
- 2013.4.6 私が東京を変える主催『宇都宮健児・井戸川克隆 未来を語る』を渋谷にて開催。
- 2013.4.20 「シェーナウの想い」、「原発」都民投票ドキュメンタリー」西東京市にて上映会開催。
- 2013.4.24 脱原発政治連盟「緑茶会」立ち上げ



図 8 市議補選



図 9 宇都宮健児・井戸川克隆未来を語る

- 集会。運営委員長として参加。
- 2013.5.2 『都政わいわい勉強会 in 西東京』参加。都議選出馬表明。

2. 東京でやりたいこと

- 常設型住民投票条例**
常設型の住民投票条例を作るべき。都民の声を無視する都政などいらない。民主主義を機能させないために働く議会では本末転倒。
- 最低賃金を見直す**
生活保護費を削るのではなく、最低賃金をきちんと保証すべき。賃金保障という当たり前の声がヒステリックで乱暴な言説によってかき消されてしまうのがとても悲しい。
- ホームレス対策**
好き好んでホームレスになる人はいないでしょう。ホームレスを排除するのではなく、東京を、もう一度やり直せる街にする。
- アジアとの関係を東京から築く**
交換留学を活発に行い、アジア諸国との理解を深め、次に続く世代の心の内に平和の芽を育てる。
- 満員電車の改善**
すべての路線でビッグデータを活用し、混雑を緩和。時差通勤を推進し、乗換駅の動線を見直す。(※飯田橋では朝のラッシュ時に一人で駆け下りることのできるエスカレータがある)
- スマ保 (スマート保育)**
いろんなアイデアを取り込むことのできる仕組みを作り上げたい。
安倍首相が3年間の育休を言うと同時に、企業に女性の取締役を一人と言ったが、この女性は同じ女性なのか？むしろ、企業に保育園の設置義務を課したら、いいのではないか。
子供と一緒に満員電車に乗るのは現実的ではないので、時差通勤を認めるとか、準急、急行は無理でも、普通電車に子供優先車両を設けるなど、社会全体で子育てを応援するというのを、目に見える形で行いたい。
- 道路**
近所（西東京市向台町4丁目）で交通事故多発スポットがある。坂道と交差する四つ角で、信号機を設置するほどの交通量ではないが同じくらいの幅の道路がクロスしていて坂道の方の地面に「とまれ」と書いてある。自転車に乗っていたら、気持ちよく駆け下りたくなるような

道路である。
この場所で3月に交通事故があった。高校1年生の少女が全治五ヶ月の重症で、入学式にも行けなかった。道交法自体に不備があるのではないか。硬直的なルールではなく、交通安全に資するようなきめ細かなルールづくり、運用について考えたい。

- リトル福島をつくる**
福島のコミュニティを取り戻す。福島の文化をはぐくむことのできる環境をつくる。たとえば双葉町のA級グルメB級グルメを復活させ、そこに故郷の味を求めて、福島の人たちが集まり、かつ、福島以外の人たちとも、つながることのできる場を構築する。
- 全寮制の学校に福島枠を設ける**
福島県郡山市に住む小中学生によって提訴された集団疎開裁判は、マスコミにも満足に取り上げられず、仙台高裁は「由々しい事態の進行が懸念される」と言いつつ、申し立てを却下した。今この時、被曝を余儀なくされている子どもたちを思うと、さまざまな議論をしている暇はない。全寮制の学校に福島枠を設けるなど、子どもたちに放射能のない環境で教育を受けさせる施策が早急に必要であり、この件に関し、東京都は決して他人事ではない責任を負っていると考える。
- 東京都内の公的施設予約を一つのIDで**
西東京氏の公共施設はネットでの予約ができるが、全体を一つのIDとはなっておらず、公民館と市役所の管理している会議室は、別途、登録が必要である。このようなIDの管理を、東京都全体で行うことができれば、施設利用の利便性が増し、さまざまな市民活動に有益であると思われる。
- 東京の夜を見直す**
昼のように明るい夜は不要。東京の夜を見直したい。
- 自治体表彰**
優れた活動をしている自治体を東京都が表彰することにより、他の自治体に活動を紹介する仕組みを作りたい。

【参考】*[1]-[5]山口あずさ制作

- [1]内田裕也.COM
<http://www.uchidayuya.com/>
- [2]向荣会
<http://koueikai.info/>
- [3]山口あずさと原発ゼロにする会
<http://rollienne.jp/>
- [4]「原発」都民投票の会
<http://tomintohyo.info/>
- [5]私が東京を変える
<http://watashiga.org/>
- [6]脱原発政治連盟「緑茶会」
<http://ryokuchakai.wordpress.com/>

【プロフィール】

昭和37年1月 東京都西東京市生まれ
昭和49年3月 東京都田無市立向台小学校卒
昭和52年3月 東京都田無市立田無第一中学校卒
昭和55年3月 東京都立保谷高等学校卒
昭和59年3月 東京経済大学経営学部経営学科卒
平成21年3月 成蹊大学法科大学院 法務研究卒
法務博士（専門職）
昭和59年4月 映像制作会社「デックス」入社後、
広告代理店等を経て、派遣社員（主な派遣先としてNTT 武蔵野通信研究所）
平成21年10月 IHI ビジネスサポート入社（契約社員・現職）

【現在の肩書】

市民グループ「私が東京を変える」代表
山口あずさと原発ゼロにする会 代表